

はじめに

福井県敦賀市は、豊かな自然と日本の文化・産業を支えた「敦賀港」を中心に歴史を築いてきた「港まち」である。

特に「敦賀港」は、明治期に日本海側唯一の第一種重要港湾に指定され、また東京・新橋金ヶ崎（敦賀港）間の敦賀ルートからシベリア鉄道経由でヨーロッパに至る欧亚国際連絡列車が開通するなど、交通・軍事・経済・文化の拠点として重要視されていた。また大正から昭和初期にはポーランド孤児や杉原千畝・命のビザによるポーランド系ユダヤ難民の受け入れの人道支援の地となったなど、多くの国際的な歴史背景を抱えている。更に敦賀港周辺には赤レンガ倉庫、敦賀港駅ランプ小屋などの歴史的建造物が立地している他、金ヶ崎緑地なども整備されており、自然・文化的資源が集積している。

しかし、このような多くの資源に恵まれながらも、いまだ十分に活用しきれていないのが現状であり、敦賀港周辺においては、敦賀の玄関口である JR 敦賀駅周辺と共に、市の活性化に向けて魅力ある賑わい・交流拠点の形成が求められている。

一方、敦賀市は音楽・演劇などの芸術分野で広く活躍している人材を多く輩出しており、市民の音楽活動も盛んである。また敦賀短期大学では平成19年度から音楽フィールドを開設するなど、本市は芸術分野での人材資源に恵まれていると共に芸術を育む土壌がある。

そのため、本市では『本物の芸術に出会い感動し、そして自らの芸術を探し楽しむまち』をテーマに、芸術を柱として市民の心の豊かさを育み、また市民・来訪者の交流を促進して、市の賑わい・活性化を生み出すまちづくりを目指す中で、特に自然・歴史・文化的資源が豊富に集積する敦賀港周辺において、市民主導・参加型の芸術文化活動の拠点『敦賀港芸術村』形成を目指していく。また、JR 敦賀駅周辺と敦賀港周辺の2つの賑わい・交流拠点をつなぐ中心市街地においても、その活性化に向けて芸術の発表・交流の場を設けて、中心市街地の集客力を高め回遊性を生み出していくことを目指していく。

これらの実現に向けた第1歩として、今回、音楽を中心とした社会実験イベントを実施することとした。この社会実験イベント実施にあたっては産・学・官・民の代表からなる「敦賀港芸術村構想社会実験イベント実行委員会」を設置し、本実行委員会を中心に企画・広報・運営を行うと共に、イベント実施による効果の検証及び課題の抽出・整理を行い、今後の『敦賀港芸術村』の実現につなげていくものとする。

目 次

・ 社会実験の背景と目的・狙い	1
1．敦賀市の概要	3
2．敦賀港周辺における歴史・文化資源	5
3．敦賀市の芸術分野における人材資源	10
4．『敦賀港芸術村』の基本的な方向性	12
5．社会実験の目的と狙い	13
・ 社会実験の実施内容	15
1．社会実験の概要	17
2．社会実験の推進体制	19
3．広報実施内容	22
4．イベント実施内容	25
5．各種調査実施内容・結果	43
・ 社会実験の効果検証	67
1．社会実験イベント実施による効果	69
2．社会実験イベント実施による費用対効果の検証	73
・ 今後の課題と方向性	79
1．社会実験を通じて抽出された課題と対応策	81
2．『敦賀港芸術村』実現に向けた今後のスケジュール	85
参考資料	87
1．敦賀港芸術村構想社会実験イベント実行委員会設置要綱	89
2．来訪者アンケート調査 問4 [イベントに対する満足度]の自由意見(全て)	93
3．出演者アンケート調査 問2 [イベント出演に対する満足度]の自由意見(全て)	101